学校法人角川ドワンゴ学園

N高等学校 S高等学校 R高等学校

2027年度

生徒募集要項

出願書類・返信用封筒在中

N高、S高、R高の主な違いは **本校スクーリング会場のみ** です。
学費や学びの内容に違いはありません。

INDEX

P. 01　学費［ネットコース］
P. 02　高等学校等就学支援金・支給見込額の先引き
P. 03　学費［週5コース・週3コース・週1+コース］
P. 04　教育課程について（標準履修モデル）
P. 05　出願手続き／教育ローン・学費サポートプラン
P. 07　注意事項／よくある質問

学費［ネットコース］

単位制・通信制課程の学費

N高等学校・S高等学校・R高等学校では、選択するコースにかかわらず全生徒共通で「単位制・通信制課程の学費（右表）」が必要になります。単位制・通信制課程の学費は、履修単位数や「普通科」と「普通科ベーシック」の選択によって変わります。

	普通科	普通科ベーシック
入学金	10,000円	10,000円
教育関連諸費	13,000円	13,000円
施設設備費	50,000円	50,000円
授業料	1単位当たり 12,000円×履修単位数 ※25単位履修の場合 12,000円×25単位=300,000円	1単位当たり 7,200円×履修単位数 ※25単位履修の場合 7,200円×25単位=180,000円

コースごとの学費イメージ

※「各コースの学費」の詳細は、P.3に記載しています。

ネットコース以外のコースへ入学を希望される方は、「単位制・通信制課程の学費」に加えて「各コースの学費」が必要です。

ネットコース	週5コース	週3コース	週1+コース
単位制・通信制課程の学費	単位制・通信制課程の学費	単位制・通信制課程の学費	単位制・通信制課程の学費
	＋	＋	＋
	週5コースの学費	週3コースの学費	週1+コースの学費

ネットコースの年間学費モデル

家庭の教育費負担の軽減を目的として文部科学省が実施している「就学支援金における所得制限撤廃」を前提とした、ネットコースの年間学費モデルは以下の通りです。「支給見込額の先引き」は、P.2を確認してください。

普通科	支給見込額の先引き適用あり	支給見込額の先引き適用なし
1年次	73,000円 <内訳> 入学金 10,000円 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円	373,000円 <内訳> 入学金 10,000円 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円 授業料（25単位分） 300,000円
2年次	63,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円	351,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円 授業料（24単位分） 288,000円
3年次	63,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円	363,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円 授業料（25単位分） 300,000円
3年間の実質負担額	199,000円	1,087,000円

普通科ベーシック	支給見込額の先引き適用あり	支給見込額の先引き適用なし
1年次	73,000円 <内訳> 入学金 10,000円 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円	253,000円 <内訳> 入学金 10,000円 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円 授業料（25単位分） 180,000円
2年次	63,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円	243,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円 授業料（25単位分） 180,000円
3年次	63,000円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円	235,800円 <内訳> 施設設備費 50,000円 教育関連諸費 13,000円 授業料（24単位分） 172,800円
3年間の実質負担額	199,000円	731,800円

※普通科の生徒のみが履修することができる科目や、参加することができるワークショップがあります。
※パソコン・スマートフォン・タブレットと併せて、ChatGPTなどの生成AIやVR機器を活用した学校生活を送ることが可能です。
最先端の技術を活用し、学習コンテンツも日々アップデートされています。
※普通科を選択された方にはVR機器が貸与されます。貸与するVR機器は、普通科卒業時に無償で譲渡されます。
※選択する機器の種類によって機器手配特別費用が発生します。※VR機器及び機器手配特別費用は変更となる場合があります。
Meta Quest 3S（128GB）：機器手配特別費用なし／Meta Quest 3S（256GB）：17,000円／Meta Quest 3（512GB）：42,000円

高等学校等就学支援金・支給見込額の先引き

高等学校等就学支援金とは

「高等学校等就学支援金（就学支援金）」とは、家庭の教育費負担軽減を目的として、授業料の一部または全部を国が支援する返済不要の制度です。申請手続きを行うことで、単位制・通信制課程の学費（N高グループの場合1単位当たり12,000円または7,200円）に対し、認定結果に応じた就学支援金が所属期（4月、7月、10月、1月）の終了月に支給されます。

※授業料の先引きを行っている場合は、学園へ充当されます。
※政府の方針により制度の内容が変わる可能性があります。

高等学校等就学支援金の詳細は文部科学省のWebサイトを確認してください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/

支給条件

① 高等学校在籍が上限48カ月まで
② 卒業まで最大74単位まで
③ 年間の上限は30単位まで

申請方法

入学日以降、対象者の方へメールにて申請方法を案内します。メールの内容を確認の上、手続きを行ってください。なお、授業料負担を軽減するための重要な手続きですので、メールを受け取った方は、必ず手続きをしてください（制度の対象外となる方に案内メールは送信されません）。

支給対象外となる要件

①高等学校等（修業年限が3年未満のものを除く）を卒業または修了した方。
②高等学校等に在学した期間が通算して3年（定時制・通信制の場合は4年）を超えている方。
※「高等学校等に在学した期間が通算して3年（定時制・通信制の場合は4年）」とは、制度を利用（申請）した期間ではなく、高等学校等に在籍した期間です。未申請の期間も含まれます。
③履修期間を満了した単位数が74単位を超えている方。
※「修得単位数」ではなく、これまでの高校在籍時の「履修登録単位数」で計算します。
④生徒本人が日本国内に住所を有していない方。
※外国籍の方は、日本への定住性が認められない場合などに、対象外となることがあります。詳細は文部科学省のWebサイトを確認してください。

支給見込額の先引きとは

N高グループでは、「高等学校等就学支援金の支給見込額をあらかじめ差し引いた金額」を、1次請求として学費を案内します。なお、行政の審査結果により、支給見込額と実際の支給額に差額が生じる場合があります。その際は、差額分を2次請求として次年度学習開始の約2カ月前を目途に案内します。また、差額が発生しない場合には2次請求の案内はありません。

先引き適用あり（例）

納入額	先引き額
73,000円	300,000円

先引き適用なし（例）

納入額
373,000円

適用対象外となる要件

以下のいずれかに該当する際は、支給見込額の先引き適用なしの場合の納入金の案内をします。

① 高等学校等の在学期間が通算36月（定時制・通信制の場合は48月）を超えている方。
② 高等学校等（修業年限が3年未満のものを除く）を卒業又は修了した方。
③ 生徒の住民票が海外にある方。
④ 生徒の国籍が海外にある方。
⑤ ダブルスクール等の提携先の学校で既に就学支援金制度をご利用の方、またはご利用予定の方。
⑥ 編入学、転入学の方。
⑦ 履修期間を満了した単位が74単位を超えている方。

※修得単位数ではなく、これまでの高校在籍時の履修登録単位数で計算します。
※就学支援金の適用単位数は、最大74単位・年間30単位までと設定されています。
※支給要件としての「高等学校等に在学した期間が通算して36月（定時制・通信制の場合は48月）」とは、就学支援金制度の利用（申請）期間ではなく、高等学校等に在籍した期間を指します。就学支援金制度未申請の期間も計算されます。

学費［週5コース・週3コース・週1+コース］

週5コース・週3コース・週1+コースの学費

週5コース・週3コース・週1+コースへ入学を希望される方は、「単位制・通信制課程の学費（P.1）」に加えて「各コースの学費（下表）」が必要です。なお、週5コース・週3コース・週1+コースの学費は、「高等学校等就学支援金（就学支援金）」の対象外となります。別途、学習ツールとして「MacBook Air」（約16万円）の購入が必要です。

	週5コース		週3コース		週1+コース	
	リアルキャンパス	オンラインキャンパス	リアルキャンパス	オンラインキャンパス	リアルキャンパス	オンラインキャンパス
入学金	100,000円	22,000円	100,000円	22,000円	50,000円	22,000円
授業料	600,000円	600,000円	440,000円	456,000円	160,000円	180,000円
施設設備費	250,000円	—	185,000円	—	80,000円	—
セキュリティーソフト代	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
単位制・通信制課程の学費[※1]	73,000円	73,000円	73,000円	73,000円	73,000円	73,000円
入学初年度年間合計[※2]	1,028,000円	700,000円	803,000円	556,000円	368,000円	280,000円

※1 支給額の先引き適用あり
※2 税込み

+ONE授業について

+ONE授業とは、+ONEチケットを使い、学びたい講座を選んで受講することができるシステムです。自身の興味関心に合わせてカスタマイズできるので、好きなことを好きなだけ学ぶことができます。+ONEチケットはいつでも購入できますが、入学前なら、よりお得な購入特典があります。また、学びたい内容に合わせ、+ONE授業を組み合わせたパッケージプランも用意しています。こちらは、専用のチケットパックを購入することで受講することができます。

+ONEチケット購入費 ※税込み

枚数	金額	入学前購入特典	入学後購入特典	支払い方法
3枚	16,500円	+1枚	—	クレジットカード コンビニ払い Pay-easy
5枚	27,500円	+2枚	—	
10枚	55,000円	+5枚	+1枚	
30枚	165,000円	+16枚	+4枚	

パッケージプラン購入費 ※税込み

パッケージプラン	授業形式	金額（入学前購入特典価格）	金額（入学後購入価格）	チケット枚数	支払い方法
プログラミングマスターズパック	オンライン型	93,500円	143,000円	26枚	クレジットカード コンビニ払い Pay-easy
	通学型	137,500円	203,500円	37枚	
個別指導パック	オンライン型	44,000円	60,500円	11枚	
	通学型	55,000円	82,500円	15枚	

教育課程について（標準履修モデル）

教科	科目	単位数	●必履修 ◎選択必履修 ○選択	標準履修モデル 普通科 1年次	2年次	3年次	普通科ベーシック 1年次	2年次	3年次	レポート（添削）回数
国語	現代の国語	2	● 「現代の国語」および	2			2			6
	言語文化	2	● 「言語文化」必履修	2			2			6
	論理国語	4	○		4			4		12
	国語表現	4	○			4			4	12
	古典探究	4	○			4			4	12
地理歴史	地理総合	2	● 「地理総合」および「歴史総合」必履修	2			2			6
	地理探究	3	○						3	9
	歴史総合	2	●	2			2			6
	日本史探究	3	○					3		9
	世界史探究	3	○		3			3		9
公民	公共	2	● 「公共」必履修	2			2			6
	倫理	2	○						2	6
	政治・経済	2	○			2			2	6
数学	数学Ⅰ	3	● 「数学Ⅰ」必履修	3			3			9
	数学A	2	○	2			2			6
理科	化学基礎	2	◎ 「科学と人間生活」を含む2科目、または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から3科目を選択必履修	2			2			6
	生物基礎	2	◎		2			2		6
	地学基礎	2	◎			2			2	6
保健体育	体育Ⅰ	2	● 「体育Ⅰ」「体育Ⅱ」「体育Ⅲ」「保健」をそれぞれ必履修（※1）	2			2			2
	体育Ⅱ	3	●		3			3		3
	体育Ⅲ	2	●			2			2	2
	保健	2	●		2			2		6
芸術	美術Ⅰ	2	● 「美術Ⅰ」必履修（※2）		2			2		6
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	● 「英語コミュニケーションⅠ」必履修	3			3			9
	論理・表現Ⅰ	2	○		2			2		6
	論理・表現Ⅱ	2	○			2			2	6
家庭	家庭基礎	2	◎ 「家庭基礎」または「家庭総合」どちらかを選択必履修		2			2		4
情報	情報Ⅰ	2	● 「情報Ⅰ」必履修	2			2			4
	情報Ⅱ	2	○			2			2	4
総合	総合的な探究の時間Ⅰ	1	● 「総合的な探究の時間Ⅰ」「総合的な探究の時間Ⅱ」「総合的な探究の時間Ⅲ」をそれぞれ必履修	1			1			1
	総合的な探究の時間Ⅱ	2	●		2			2		1
	総合的な探究の時間Ⅲ	1	●			1			1	1
リベラルアーツ	Global CommunicationⅠ	2	○		2		普通科ベーシックは選択できません			2
	Global CommunicationⅡ	2	○			2				2
	アカデミック・エッセイ実践	2	○			2				2
次世代教養	ビジネス学総合探究	2	○			2				2
特別活動		—	● 卒業までに活動参加が必要（30単位時間以上）							
合計				25	24	25	25	25	24	
				74			74			

●必履修……卒業までに必ず履修すべき科目
◎選択必履修…教科ごとにどれかは必ず履修しなければならない科目（両方の履修も可）
○選択……自分の興味・必要に応じて履修する科目

「標準履修モデル」の □：標準履修モデルの科目
■：標準履修モデル以外の科目

「科目」の 赤文字：学び方「普通科」のみ選択可能科目

2年次・3年次の標準履修モデル（P.9〜10）

卒業に必要な単位数は74単位以上です。
標準履修モデルは、当校に1年次として入学する場合に適用されます。
転入学・編入学の場合も、前籍校での修得単位を加味し、標準履修モデルをもとに履修科目を案内しています。
学び方が「普通科」の場合は、標準履修モデルの他にも、進路に応じて「文系大学モデル」「理系大学モデル」「美容／ファッション」を選択することが可能です。
2027年度に2年次・3年次として入学の場合、標準履修モデルが異なります。詳細は二次元コードリンク先のP.9〜10をご確認ください。

※1「体育」は前籍校での修得状況に応じて卒業までに必要な科目を設定します。そのため標準履修モデルの年次に沿っていない場合があります。
※2 転入学・編入学において「音楽Ⅰ」「書道Ⅰ」「工芸Ⅰ」のうち、いずれかを前籍校にて2単位以上修得かつ学習完結している場合は、当校で「美術Ⅰ」を履修する必要はありません。

- 上記の表に記載されている標準履修モデルの科目のほか、「文学国語」4単位、「数学Ⅱ」4単位、「数学Ⅲ」3単位、「数学B」2単位、「数学C」2単位、「科学と人間生活」2単位、「物理基礎」2単位、「物理」4単位、「化学」4単位、「生物」4単位、「英語コミュニケーションⅡ」4単位、「英語コミュニケーションⅢ」4単位、「論理・表現Ⅲ」2単位、「家庭総合」4単位を設けております。
- 標準履修モデル以外の科目や他学年の科目を履修する場合、標準履修モデルで必要となるスクーリング日数よりも多くの参加が必要となります。またスクーリングの時期ならびに会場が限定される可能性があります。
- スクーリングとは対面形式の授業で、高校卒業資格取得のために必要な必修授業のひとつです。在籍校の本校または全国のスクーリング会場で履修科目の授業や特別活動を受講します。原則2年次に参加する本校スクーリングでは、課外活動として地域の文化・産業・技術に触れていきます。
- 入学年度の履修科目の追加・変更を希望する場合、ネットコース（単位制・通信制課程）合否通知メールに記載の履修科目確認画面より申請してください。
  1年次は全て同じ履修モデルのため、履修科目の追加および変更はできません。2年次以降の履修科目は進級時に変更することが可能です。
  また、2年次入学の場合は入学年度のみ履修変更が可能ですが、3年次の履修科目は進級時の変更となります。
- 当該年度途中に履修科目を追加・変更することはできません。
- 科目によっては普通科限定科目が設定されています。普通科限定科目は、学び方で「普通科」を選択した生徒のみ履修が可能です。

出願から入学までの流れ

① Web出願

右記の二次元コードを読み取って、入学を志願する高校（N高 or S高 or R高）に出願してください。

●ネットコース以外を志願する場合は、Web出願後の案内に沿って各コースへの出願手続きも行ってください。

●出願者の顔写真と入学検定料・受験料を準備してください。

顔写真の準備

写真は入学後に生徒証の写真として使用します。
下記の条件の顔写真を用意してください。

- ●出願の3カ月以内に撮影
- ●鮮明なカラー写真（白黒写真は不可）
- ●胸あたりより上の上半身で正面
- ●写真のデータは10MB以内
- ●保存形式は「jpg」もしくは「png」

※出願者の顔が不明瞭な写真等は再提出（無効）となります。
詳しくは、Webサイトを確認してください。

② 出願書類提出

入学区分によって必要な書類が異なります。
該当する全ての書類を郵送にて提出してください。

提出書類	新入学	転入学	編入学
調査書	○	—	—
学籍・就学状況 証明書	—	○	○
成績・単位修得 証明書	—	○	○
生徒の転学について（照会）	—	○	—
在籍証明書	—	○	—
在籍高等学校の教育課程表（コピー可）	—	○	○

書類作成【様式】

書類作成および提出物の詳細は同封の「出願書類」を確認の上、必要な様式を利用してください。

書類提出【方法】

同封されている「返信用封筒」に厳封の上、郵送してください。
「返信用封筒」を利用しない場合は、以下の住所を記載し簡易書留で送付してください 。

送付住所：〒135-0042 東京都江東区木場5-6-35 木場岡本ビル4階 学校法人角川ドワンゴ学園 木場事務所 学校事務部 行

③ 選抜方法

出願コースによって選抜方法が異なります。

ネットコース ———— 書類選考のみ。
ネットコース以外（オンラインキャンパス） ———— 書類選考のみ。
ネットコース以外（リアルキャンパス） ———— 筆記試験・面接試験（グループワーク含む）。

④ 合否通知

出願コースによって通知方法が異なります。ネットコース以外に出願した方は、「単位制・通信制課程」と「各コース」両方の合否を確認してください。

ネットコース ———— **「単位制・通信制課程」の合否**をメールにて通知します。
ネットコース以外 ———— **「単位制・通信制課程」の合否**をメールにて通知します。
上記のメールが届いた方は、各コースの合格発表日（15時以降）に、出願システム上で「各コース」の合否を確認することができます。

※合否通知・入学手続きの詳細はWebサイト（https://nnn.ed.jp/admission/）を確認してください。

⑤ 入学手続き

出願コースによって手続き方法が異なります。ネットコース以外に入学する方は、2回の手続きが必要となります。

ネットコース ———— 1.「単位制・通信制課程」の入学意思確認・入学手続きを完了してください。
ネットコース以外 ———— 1.「単位制・通信制課程」の入学意思確認・入学手続きを完了してください。
2. 上記の手続き完了後、「各コース」の入学手続きを完了してください。

2027年度4月入学生 出願資格

新入学	転入学	編入学
2027年3月中学卒業見込者・中学既卒者	高等学校在籍者（休学中含む）	高等学校中途退学者

転入学・編入学の詳細は個別相談で案内します。
https://nnn.ed.jp/form/

［年度内での転入学・編入学における注意事項］

- ●転入学は随時受付しています（1年次・2年次は1月まで、3年次は12月まで）。入学月の1カ月前を目安に出願してください。
- ●休学期間がある方は、入学時期や卒業時期の希望に添えない場合があります。事前に問い合わせてください。
- ●転入学・編入学の方は前籍校の学習が加味される場合があります（在籍期間・修得単位）。休学期間中は在籍期間に含まれません。
- ●転入学・編入学の方は「支給見込額の先引き」が利用できません。

2027年度4月入学生 出願期間

出願期	受付対象			出願期間	試験日（予定）
第1期	新入学	転入学	編入学	2026年9月17日（木） ～ 2026年10月20日（火）	2026年10月31日（土）もしくは11月1日（日）
第2期	新入学	転入学	編入学	2026年10月23日（金） ～ 2026年11月24日（火）	2026年12月5日（土）もしくは6日（日）
第3期	新入学	転入学	編入学	2026年11月27日（金） ～ 2027年1月5日（火）	2027年1月16日（土）もしくは17日（日）
第4期	新入学	転入学	編入学	2027年1月8日（金） ～ 2027年2月9日（火）	2027年2月20日（土）もしくは21日（日）
第5期	新入学	転入学	編入学	2027年2月12日（金） ～ 2027年3月2日（火）	2027年3月6日（土）もしくは7日（日）
第6期	新入学	転入学	編入学	2027年3月5日（金） ～ 2027年3月16日（火）	2027年3月22日（月）

※試験日は、試験会場により異なります。詳細はWeb出願ページを確認してください。

入学検定料・受験料 費用と納入方法

費用		納入方法
［ネットコース］	5,000円（入学検定料）	クレジットカード コンビニ払い
［ネットコース以外］ リアルキャンパス	5,000円（入学検定料）+15,000円（受験料）	クレジットカード コンビニ払い Pay-easy
オンラインキャンパス	5,000円（入学検定料）+5,000円（受験料）	

教育ローン・学費サポートプラン

N高グループでは、経済的に就学が困難な方に対して、教育ローンや学費サポートプランを案内しています。

国の教育ローン

入学前に低金利で学費を借りたい場合や、入学時・在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫（旧国民生活金融公庫）の教育ローンがあります。詳細は、日本政策金融公庫のWebサイトを確認してください。

【日本政策金融公庫】
https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

※教育ローンコールセンター（0570-008656）でも資料請求が可能です。

民間の教育ローン・ 学費サポートプラン

N高グループ提携の民間教育ローン・学費サポートプランを案内しています。案内は、入学手続き書類に同封します。詳細は、右記のWebサイトを確認してください。

【ジャックスの教育ローン】
https://www.jaccs.co.jp/service/credit/education/yuyu/

【オリコの学費サポートプラン】
https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?do=confirm

注意事項

入学金・検定料について	返金不可：一旦納入された入学検定料および入学金は、理由の如何を問わず返金できません。
授業料等の返金について	返金対象となるケース：入学手続き完了後、教材等の到着から10日以内に入学辞退のご連絡をいただいた場合は、当校指定の「入学辞退届」の提出が必要です。書類提出後、入学検定料および入学金を除く学費を返金します。 返金不可となるケース：教材等の到着日から10日を経過したあとに入学辞退する場合。
本校スクーリングについて	参加義務：在学期間中に1回以上（原則2年次、3年次転編入生は3年次）の参加が必要です。 所属校ごとの参加場所：［N高等学校］沖縄伊計本校／［S高等学校］茨城つくば本校／［R高等学校］群馬桐生本校 費用・特例：往復の交通費・宿泊費が別途必要です。 会場変更の特例：住民税非課税・生活保護世帯、または医師の診断により本校への参加が困難な場合は、申請により他会場での参加が認められる場合があります。
学費等について	改定の可能性：在学中に学費等が改定される場合があります。
高等学校等就学支援金について（支給見込額の先引き）	申請の義務：支給見込額の先引き適用ありの場合、入学後の申請手続きが必須です。 2次請求が発生するケース：●行政審査の結果、就学支援金の支給額が当初見込みを下回った場合。 ●学期途中の退学・転学した場合。 ※2次請求に応じない場合、当該年度の単位は認定されません。 納入方法：ネットコース学費は各年次一括納入のみ（分割不可）です。 転編入生への対応：支給見込額の先引き対象外です。入学手続き時に当該年度分の学費を全額納入し、支援金は国の支給時期に合わせて後日還付されます。
その他手続きについて	入学取り消し：期日までに入学手続き（電子署名・学費納入・保健調査票回答）がない場合。 別途費用：週5・週3・週1+コース・提携スクールへの出願は、別途手続きと費用が必要です。 普通科 ←→ ベーシックの変更：各所属期の開始月（4月、7月、10月、1月）のみ可能。指定期日までの申請が必須です。 VR機器の返却：退学・転学、またはベーシックへ変更する際は、送料自己負担にて返却が必要です。
高等学校卒業程度認定試験について	入学前に認定された科目については、単位を認定し卒業単位数に含めることができます。 ただし、入学手続きの段階で申し出があった場合に限ります。 また、入学後に申し出があった場合や入学後に認定された場合は当校での修得単位数に含めることはできません。

よくある質問

Q1 出願の申し込みはいつからですか？

A1 入学希望月の約1カ月前を目安にWeb出願と出願書類の提出が必要です。在籍校または、前籍校への書類作成は、余裕を持って依頼してください。現在中学3年生の方の出願受付日程は当冊子「生徒募集要項」内に記載しています。

Q2 履修科目は変更できますか？

A2 出願校より届く「ネットコース（単位制・通信制課程）合否通知」のメール内に、選考結果と併せて履修科目を記載します。履修科目変更の希望がある場合は、同メール内の専用ページから申請してください。

Q3 就学支援金の申請方法を教えてください

A3 高等学校等就学支援金の申請案内は、入学確定後、受給資格が見込まれる方へ順次メールにてご案内します。内容をご確認の上、学校の案内に従いご申請ください。

Q4 学費以外に必要な費用はありますか？

A4 スクーリングや職業体験等では宿泊費・交通費が別途必要です。また、週5コース・週3コース・週1＋コース・提携スクールに出願する場合は単位制・通信制課程の学費とは別に費用が必要です。

入学に関するご相談は

フリーダイヤル 0120-0252-15

【受付時間】平日10:00～19:00（土日・祝日・年末年始を除く）

support@nnn.ac.jp https://nnn.ed.jp

〒135-0042 東京都江東区木場5-6-35 木場岡本ビル4階

学校法人角川ドワンゴ学園 木場事務所 学校事務部

※N高等学校、S高等学校、R高等学校は学校教育法第一条に定められた高等学校です。全日制高校と同じ「高校卒業資格」を取得することができます。

第2版 2026年10月発行